

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム みのぶの郷

目標達成計画

作成日: 平成 28 年 3 月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ホーム開設時からの理念を継続し、職員会議等で振り返りを行っているが、職員個々に言葉への理解に幅があり、共通認識が曖昧となっている様子が窺われる。	職員と共に理念について再度振り返り、理念が職員や家族への理解に繋がり、より介護へ反映させることができる。	ミーティングや職員会議等以外にも日常の現場を通じて、コミュニケーションを図りながら、現場の意見を聞いたり、フィードバックすることで、風通しの良い組織風土をつくる。また、必要な情報を効率的かつ効果的に共有できるよう職員にわかりやすく繰り返し伝える。	12ヶ月
2	10	面会が遠のく入居者も多く、家族等との関わりや協力が苦慮している面がある。その為、家族面会時には、日頃の様子や現状に応じた介護方針を示している。また、家族等へ要望などを尋ねるも、なかなか意見が出てこない傾向にある。	利用者や家族等からの意見や、要望等を運営に反映させることで、利用者本位の支援やサービスの質の向上に繋げることができる。	今後は、面会や電話連絡等に加え、ホーム便りを発行する。情報共有と連携を密に取ながら、家族等とのより良い関係性をつくる。また、そうすることで、家族等が運営参加等に関心を持って頂き、意見の反映に繋げることができる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。